



児童虐待防止予防への支援を社会的養護のあり方から研究します。

教育学部児童教育学科 教授 野口 啓示

キーワード

虐待をした親へのペアレント・トレーニングの開発的研究
里親養育支援モデルの開発的研究
児童福祉施設での養育モデルの開発的研究

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

児童養護防止予防への支援を社会的養護のあり方から研究しています。具体的には、児童虐待をした親への支援、そして里親そして児童福祉施設で働く養育者への支援のあり方について興味があります。児童虐待をした親も里親そして児童福祉施設で働く養育者も被虐待児を養育しているという共通項があり、その支援のあり方にもお互いに通じるところがあります。どのようにすれば、児童虐待といった不適切な養育をストップできるのかについて、さまざまな機関と連携した支援を実際に行いながら考えています。

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

施設から里親へが大きな国の政策の方向性になっていますが、それは可能なのでしょうか？里親養育支援の最前機関である児童相談所や児童養護施設のスーパーバイザーを務めながら、効果的な支援のあり方を探っています。また、里親支援・子育てサポートセンターとしての NPO 法人 GIVING TREE を仲間と立ち上げ、自らは理事長として組織の運営を行うのと同時に、里子養育に困難感を持つ里親へのペアレント・トレーニングを用いたエンパワメントアプローチによる支援を行っています。

これまでの連携実績

日本ファミリーホーム協議会との共同研究を実施。

広島県子ども・子育て審議会委員児童処遇部会長、福山市社会福祉審議会委員児童部会長、福山市生涯学習振興基金運営協議会委員、福山市共同募金会監事、兵庫県多可町いじめ防止対策検証委員会委員、兵庫県児童虐待アドバイザー、日本子ども家庭福祉学会理事、日本子ども虐待防止学会代議員

子育て、児童虐待、里親を中心に幅広く児童福祉に関する講演を実施。